

# ハスモンヨトウ情報第1号（ダイズ）

平成29年8月1日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 1 発生状況

フェロモントラップによる本種の誘殺数は、豊田市で平年より多く（図）、長久手市の誘殺数は、ほぼ平年並（図）、安城市、西尾市及び弥富市の誘殺数は平年より少ない状況です。

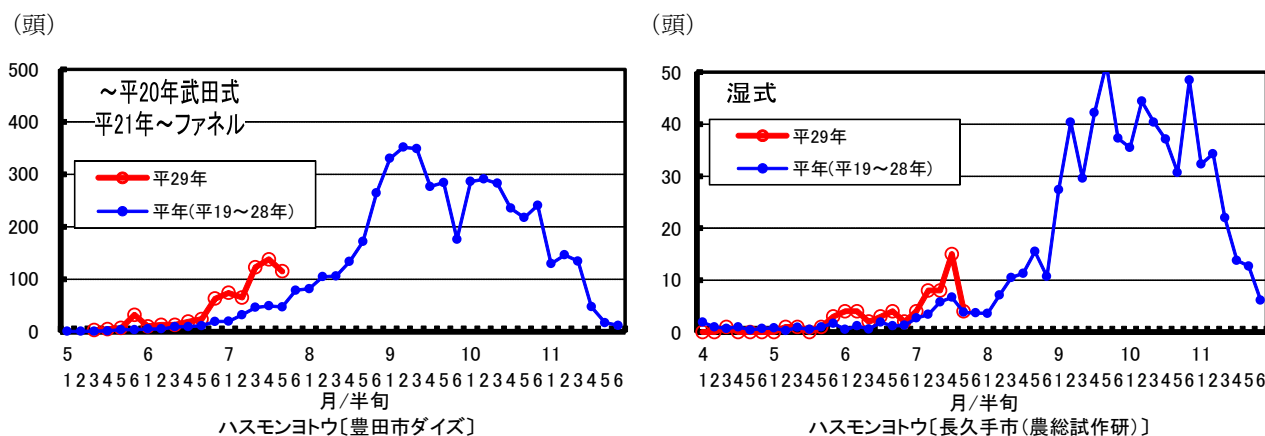


図 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺状況

## 2 今後の見込み

7月27日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、8月の気温は高く、降水量はほぼ平年並と見込まれているため、本種の発生に好適な条件が予想され、今後、発生量が急増する可能性があります。

ほ場での発生動向に注意して、白変葉及び幼虫を確認したら、表を参考に防除しましょう。

表 ダイズのハスモンヨトウに対する主な防除薬剤

農薬名	使用時期	使用回数	IRACコード
トレボン乳剤	収穫14日前まで	2回以内	3(A)
ノーモルト乳剤	収穫14日前まで	2回以内	15
ラービンフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	1(A)
トルネードフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	22A
プレオフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	UN
プレバソンフロアブル5	収穫7日前まで	2回以内	28
マトリックフロアブル	収穫前日まで	3回以内	18

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、[http://www.jpca.or.jp/labo/pdf/2017/mechanism\\_irac.pdf](http://www.jpca.or.jp/labo/pdf/2017/mechanism_irac.pdf)を参照する。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、

他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。